

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53
 県民ふれあい会館1棟6階
 FAX:058-275-6066 TEL:058-213-6786

ホームページ <https://gifudeafcenter.jp/>
 メールアドレス: gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp



新型コロナウイルス感染症について

2月末現在、全国(世界的に)猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、正しい情報と知識を身に付け感染予防に備えましょう。そこでコロナウイルスについて公開されている情報をまとめてみましたので、ご一読ください。

1. コロナウイルスとは?

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴えるのが多いことが特徴です。(感染しても症状が出ない方もいます)

2. 感染経路は?

【飛沫(ひまつ)感染】

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、唾液等)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。



【接触感染】

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着します。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。



3. 日常生活で気を付けること

いつも行っている手洗いを念入りに行いましょう。帰宅時や調理、食事前などこまめに石けんやアルコール消毒液などを使用することをお勧めします。咳の症状がある方は、マスクをしたりティッシュやハンカチで口を覆うなどの「咳エチケット」を行いましょう。



4. こんな症状の方はご注意ください。

①風邪の症状や37.5℃以上の熱が4日以上続いている。

②強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

※高齢者や基礎疾患等のある方は、①②の状態が2日以上続く場合。

基礎疾患とは糖尿病、心不全、腎障害・透析患者や、生物学的製剤、抗がん剤、免疫抑制剤投与患者など

症状がみられる方は下記の連絡先へ問合せをお願いいたします。

担当範囲	保健所等	電話番号	FAX番号
羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・羽島郡・本巣郡	岐阜保健所	058-380-3004	058-371-1233
大垣市・海津市・養老郡・不破郡・安八郡・揖斐郡	西濃保健所	0584-73-1111(内線273)	0584-74-9334
関市・美濃市・郡上市	関保健所	0575-33-4011(内線360)	0575-33-4701
美濃加茂市・可児市・加茂郡・可児郡	可茂保健所	0574-25-3111(内線358)	0574-28-7162
多治見市・瑞浪市・土岐市	東濃保健所	0572-23-1111(内線361)	0572-25-6657
中津川市・恵那市	恵那保健所	0573-26-1111(内線258)	0573-25-1174
高山市・飛騨市・下呂市・大野郡	飛騨保健所	0577-33-1111(内線309)	0577-34-8327
岐阜市	岐阜市保健所地域保健課	058-252-7191	058-252-0639
	岐阜市中市民健康センター	058-252-0632	058-252-0638
	岐阜市南市民健康センター	058-271-8010	058-271-8014
	岐阜市北市民健康センター	058-232-7681	058-232-7683
岐阜市を除く岐阜県内一円	岐阜県健康福祉部保健医療課	058-272-8860	058-278-2624

全国統一要約筆記者認定試験終了及び要約筆記者養成講座受講生募集

令和元年12月22日に2019年度要約筆記者養成講座が修了。その後3回の試験対策講座(スキルアップ研修)を経て、令和2年2月16日(日)に全国統一要約筆記者認定試験が実施されました。

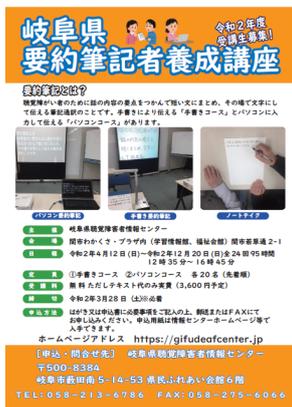
認定試験の合格率を NPO法人全国要約筆記問題研究会(全要研)、一般社団法人要約筆記者認定協会のホームページ上で公開されている数値(2011年度~2018年度)から調べてみると、手書き要約筆記の平均合格率は29%、パソコン要約筆記の平均合格率は33%となっています。この難関をくぐり抜け1名でも多くの要約筆記者が誕生してくれることを願います。

また、2020年度の岐阜県要約筆記者養成講座の受講生も現在募集を開始しておりますので、詳細については下記を参照ください。

【要約筆記とは…】

聴覚障害者への情報保障手段の一つで、話されている内容を要約して文字として伝えること。手話を使用しない中途失聴者・難聴者などが対象となります。要約筆記の手段としては手書きによるものと、ノートパソコンを利用したものがあります。本講座では上記の2コースの受講生を募集中です。

講座を修了後、上記の全国統一要約筆記者認定試験に合格されますと、要約筆記者として活動していただけます。



岐阜県要約筆記者養成講座
聴覚障害者への情報保障手段の一つで、話されている内容を要約して文字として伝えること。手話を使用しない中途失聴者・難聴者などが対象となります。要約筆記の手段としては手書きによるものと、ノートパソコンを利用したものがあります。本講座では上記の2コースの受講生を募集中です。

【申込・問合せ先】 岐阜県聴覚障害者情報センター
〒500-8384
岐阜市教田南5-14-53 県民ふれあい会館6階
TEL: 058-213-6786 FAX: 058-275-6066

主催: 岐阜県聴覚障害者情報センター

会場: 関市わかさプラザ内(学習情報館、福祉会館)

日程: 令和2年4月12日(日)~令和2年12月20日(日)全24回95時間

定員: ①手書きコース、②パソコンコース 各20名(先着順)

料金: 無料 ただしテキスト代のみ実費(3,600円予定)

締切: 令和2年3月28日(土)※必着

申込: はがき又は申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。

申込用紙、日程詳細についてはホームページ上に公開しております。

ビデオライブラリーエリアの改修を行いました。

情報センターのビデオライブラリーコーナーに視聴用としてビデオ機器を配備しておりますが、台数が少なく利用される方にはご不便をおかけしておりました。



このたび座席と機器を増やし一度に3名の方が視聴できるように、一部改修を行いました。一番左の席は従来通り利用者の方が自由に使用できるパソコンとなります。

特に手話通訳者全国統一試験直前には過去問題のDVDを視聴される方が多く来所され、1名が利用されているともう1名は交流スペース

の大画面液晶テレビで視聴することになり、やはりこの場所では他の方の視線が気になってしまい、なかなか学習に集中できない環境でもありました。

座席を増やし仕切りを設けることによって、個人個人が集中して視聴できる環境が整ったかと思われま。手話通訳者全国統一試験前後に関わらず、皆様のビデオライブラリー利用をいつでもお待ちしております。

字幕表示メガネ (MOVERIO) 絶賛貸出中！ UDCast は Palabra 株式会社の登録商標です。

メディア・アクセス・サポートセンター (MASC) 様のご協力により、字幕表示メガネ (商品名：MOVERIO (モベリオ)) の貸出を実施しております。

既に数名の方のご利用があり、少しずつですが字幕メガネの認知度が広がってきていると感じています。

これまで字幕付きで映画 (邦画) を視聴するには、日にちと時間の制約があり、そのタイミングを逃すと字幕付きで視聴することは事実上無理な状況になっていました。その点、このモベリオを使いUDCast (ユーザーキャスト) 対応の映画であれば、日にちや時間の制約もなく字幕付きの状態、自分の好きな時間に視聴することが可能となります。

ここ最近の邦画はUDCast方式に対応して公開されるものが増え、公開初日から字幕付きで視聴することも可能になってきています。UDCast方式に対応しているか否かの確認はUDCastのホームページで随時公開されていますので参考にご覧になってみてください。 <https://udcast.net/>

実際に利用してみた方からの感想文を掲載させていただきました。

『今までは字幕付きの映画を観に行きましたが、期間・時間が限られていて観れなかった映画が多数ありました。字幕表示メガネでいつでも観られると聞いたけど、正直どうなのかな?と思いました。

しかし実際に体験してみて、また利用してみたいと思ったのは確かです。字幕表示メガネを利用したときはいつもと同じ前列で観ていたのですが、利用する席は後ろ側が適していると感じました。

その理由は前列では画面 (スクリーン) が広すぎて字幕を見る部分と画面が重なってしまうからです。後ろ側で観れば、画面と字幕が離れてきれいに見えるだろうと思いました。

字幕表示メガネのメリットはいつでも時間を気にせずに観れること。デメリットは慣れないと字幕表示メガネ本体重量で少し首が痛くなります。使いこなせば落ち着いて観れます。』

字幕表示メガネの貸出は事前に申請をしていただくとスムーズです。情報センターホームページの「トピックス」から字幕表示メガネの貸出依頼が可能です。申請と同時に観たい映画のタイトルを教えてください、字幕データをあらかじめダウンロードしておきます。貸出期間は利用日を含めて1週間とさせていただきます。



情報センターだよりが50号を迎えました！



このたび岐阜県聴覚障害者情報センターで発行している「岐阜県聴覚障害者情報センターだより」が50号を迎えることができました。創刊号は平成19年に発行していますので、今から約12年も前に発行されたものになります。

過去の情報センターだよりは、創刊号から最新号まですべてをホームページ上に公開していますので、ぜひ、ご覧になってみてください。創刊号からレイアウトや掲載内容も変化してきていますが、これからも聴覚障害者はもとより手話・要約筆記関係者に有益な情報を掲載し発信できていければと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

講座開催中

「文化的景観って何だ!?!」 2020年1月17日



『文化的景観』とは、聞きなれない言葉ですが、全国では65カ所あり、ここ岐阜県では「長良川中域の景観」が選定されています。

長良川が生活の一部としてどのように使われてきたのか、その名残がある場所など様々な歴史模様を交えての講演でした。

参加者の中にも歴史に興味ある方が多数おられ、改めて過去のことを知ることができたと感慨深げな様子でした。

「初級手話教室」 2020年1月27日



今回はカードに描かれているイラストを手話で表現するという内容で開催し、食べ物、乗り物、仕事、スポーツなどを表現してもらいました。

まったく手話を知らない方でもわかりやすく、楽しく学習できるのがこの教室の良いところ。

講座参加者のアンケート回答に、「動画で配信をしてほしい」という意見が記入されていたので、自宅やスマホでも学習できるように初心者向けの素材を撮影編集し公開できればと考えております。

「要約筆記体験」 2020年2月21日



当センター内のボランティア室にて今年度最後の要約筆記体験が行われました。まずは、受講生にこの講座を受けるきっかけを聞いてみたところ、「いま手話の勉強中で、要約筆記というものがあると聞いて、どんなことをするのか興味があり参加してみた」「現在手話に携わっており、要約筆記も勉強して、今後両方兼ねてできる事を見つけて行きたい」など、様々なご意見でした。

最初、耳のしくみと聴覚障害とはどういうものかを図を使っての講義。次に、難聴者・中途失聴者・ろう者がどのような特性があり、どのようなコミュニケーション方法を使っているかなどを話された。色々あるコミュニケーション方法の中の一つ「筆談」を体験し、お互いに声を出さずホワイトボードに文字を書きながら会話をしていただいた。普段、筆談をする機会がないため会話が弾み楽しい様子でした。

後半は実技体験に。普段より文字を大きく書くため、手首を柔らかく動かせるようにウォーミングアップをし、渦巻きや直線・斜線を書いてみる。

続いて手本の紙の上に OHC ロール紙を載せてなぞりながらひらがなを練習し本番!

講師が読み上げた文章を実際に OHC ロール紙に書いてもらった。話しことばを文字にして書くことは相応の時間がかかり、初めて体験する受講生にとってはとても大変なようでしたが、講師のお褒めもあり、最後は楽しい雰囲気で行われることが出来ました。



LINE



facebook



ブログ

左の QR コードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、Facebook に簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

